

## I 第24週の発生動向 (2009/6/8~2009/6/14)

- インフルエンザについては、県全体では、大幅に減少傾向にあります。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。

## II 第24週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)			
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点		
小児科 内科	(85)	インフルエンザ			1	0.1			4	0.4			5	0.1	-15						
小児科	(74)	RSウイルス感染症													-3						
	(75)	咽頭結膜熱	2	0.2							6	1.5	8	0.2	-3			2	0.3		
	(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.7	11	1.2	9	1.0	2	0.4	44	7.3	6	1.5	78	1.9	-13		6	0.8	
	(77)	感染性胃腸炎	33	3.7	25	2.8	10	1.1	13	2.6	14	2.3	16	4.0	111	2.6	-39	5	5.0	28	3.5
	(78)	水痘	22	2.4	4	0.4	4	0.4	8	1.6	12	2.0			50	1.2	-10	1	1.0	21	2.6
	(79)	手足口病	16	1.8	2	0.2			1	0.2	9	1.5			28	0.7	-6			16	2.0
	(80)	伝染性紅斑	1	0.1	4	0.4									5	0.1	-2			1	0.1
	(81)	突発性発疹	6	0.7	4	0.4	3	0.3	1	0.2	6	1.0	3	0.8	23	0.5	8			6	0.8
	(82)	百日咳			1	0.1									1	0.0	1				
	(83)	ヘルパンギーナ									1	0.2	4	1.0	5	0.1	5				
(84)	流行性耳下腺炎	18	2.0	4	0.4			2	0.4			1	0.3	25	0.6	12			18	2.3	
眼科	(86)	急性出血性結膜炎													0						
	(87)	流行性角結膜炎	2	1.0	1	0.3								3	0.3	-1				2	1.0
基幹	(95)	マイコプラズマ肺炎			4	4.0	4	4.0					5	5.0	13	2.2	2				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	12	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	65	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

### III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前5人、五所川原1人、上十三1人 (21年計：160人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：八戸1人 (21年計：6人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：7人)
- (63) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患)：弘前1人 (21年計：2人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

### IV 病原体検出情報

- 八戸地域におけるツツガムシ病疑い患者1名(6/8検体採取)から、**オリエンチアツツガムシ**が検出されました。

## 感染症の窓

## つつが虫病

(四類感染症)



本疾患は、リケッチアである *Orientia tsutsugamushi* を保有するダニに刺されることにより発症します。本県では、6月第24週までに7人の届出人数となりました。性別では、女性がやや多く41歳以上に多く見られています(図1)。発生地域については、県内ほぼ全域にみられています(表2)。症状は、表1に示しました。**山林、草地、川原等から**帰宅した後、1~2週間の間に、**発熱、刺し口、発疹**などが見られた場合は(表1参照)、速やかに医療機関を受診してください。予防対策として、山林や畑などに出かけるときには、**ダニに刺されないような服装**(長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用)で出かけ、**草の上には、直接腰を下ろさず、寝転んだりしない、作業中に脱いだ上着は草の上に放置しない**などの注意が必要です。また、ダニ媒介性感染症である日本紅斑熱にも注意が必要です。

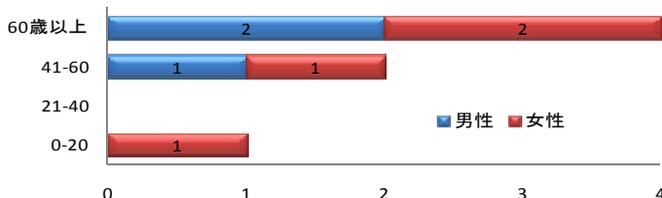


図1 年齢層別届出人数 (N=7 2009年)

表1 症状別内訳 (N=7 2009年)

発熱	6例
刺し口	5例
リンパ節腫脹	2例
発疹	6例
頭痛	1例
肝障害	1例

表2 保健所管内別人数 (N=7) ( ) は人数

八戸(1)	5月上旬
八戸(1)	5月下旬
五所川原(1)	5月下旬
東地方(1)	5月下旬
弘前(1)	6月上旬
八戸(2)	6月上旬

V インフルエンザ情報 第24週 (6/8~6/14)

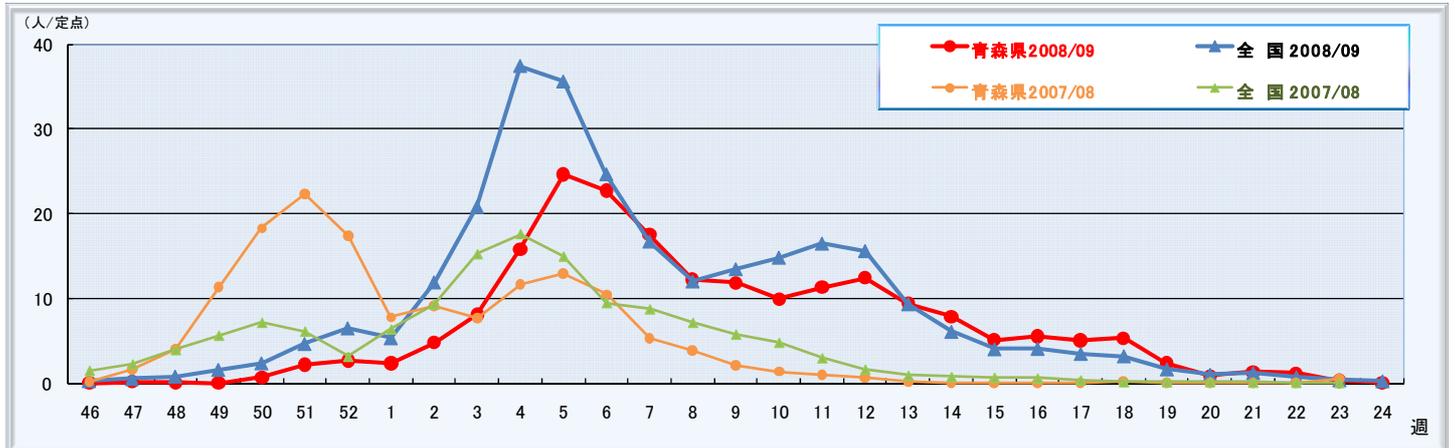
迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	0	1	0	4	0	0
A型	0	0	0	0	0	0	0
B型	0	0	1	0	4	0	0

県全体のインフルエンザ届出数は大幅に減少しています。諸外国および国内において新型インフルエンザが流行していることから今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが大切です。

VI 全国及び青森県におけるインフルエンザ届出数推移 (2007-2008 シーズン - 2008-2009 シーズン)

\* Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



VII 新型インフルエンザ情報

(2009年6月16日 午後6時速報値)

現在、新型インフルエンザ感染患者は米国、メキシコなど74カ国で確認され、合計29,669人が報告されています。

日本国内の感染者数は628人です。

【注意事項】

外出にあたっては、人混みをなるべく避けるとともに、混み合った場所でのマスクの着用、咳エチケットの徹底、うがい、手洗いなどが感染予防対策上、重要です。

新型インフルエンザ医療相談センター窓口

保健所名	電話番号
東地方保健所	017-741-8116
弘前保健所	0172-33-8521
八戸保健所	0178-27-5111
五所川原保健所	0173-34-2108
上十三保健所	0176-23-1996
むつ保健所	0175-24-1231
青森市保健所	017-765-5282

受付時間は、平日及び祝祭日ともに、午前8:30~午後5:30です。

(窓口開設期間：2009年6月11日現在)

平成21年5月18日以降、地方衛生研究所(環境保健センター)及び検疫所において判明した結果をもって、新型インフルエンザ患者の確定とすることになりました。

厚生労働省

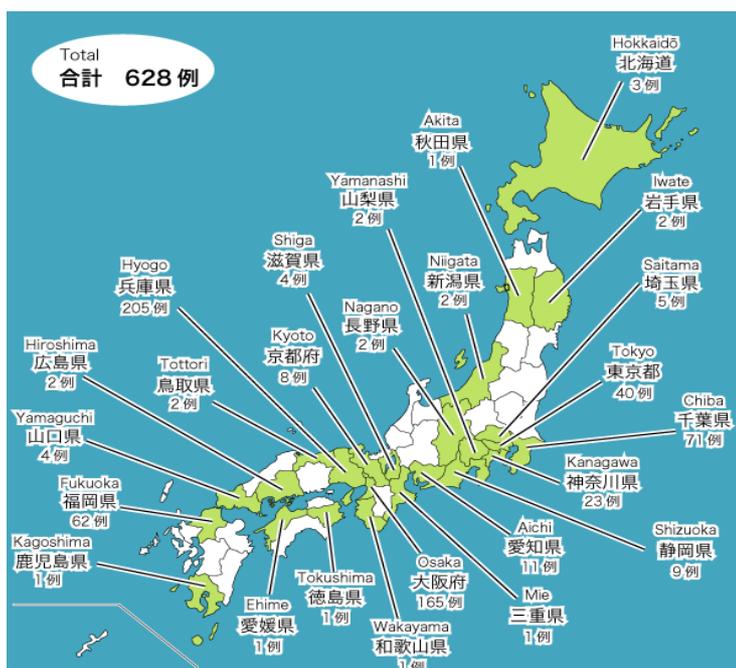


図 日本国内報告数

(国立感染症研究所感染症情報センター資料)